

人間総合科学大学 誓約書

募集要項28ページの「必要書類の記入上の注意」を参照し、正確に記入してください。

※大学記入欄

| |
|---------|
| 学 籍 番 号 |
| |

① 誓約書

全員記入してください。

人間総合科学大学学長 殿
 学生募集要項を確認した上で貴大学に志願します。
 入学後は学則*を守り、学生の本分に違反しないことを誓約いたします。 本人連絡先 () -

*本学ホームページでご確認ください。 本人住所 (〒 -)
 本人氏名 (自署) 印 ※必ず捺印してください

保証人記入欄

上記の者の在学中における、一切の義務と責任を引き受けます。

保証人氏名 (自署) フガナ ※必ず捺印してください
 保証人住所 (〒 -) (マンション・アパート名まで記入)
 生年月日 年 月 日 本人との続柄
 保証人自宅連絡先 () -
 緊急連絡先名
 緊急連絡先 () -

② 養護教諭養成コース登録における確認書(登録希望の方)

養護教諭養成コースに登録希望の方は、必ず下記の事項に目を通し、署名および捺印をお願い致します。

| 確認事項 | |
|------|---|
| 1 | 養護教諭は小学校や中学校等の保健室に勤務する教員です。けがをした児童・生徒の応急処置など、医療の知識も要求される仕事です。 |
| 2 | 本コースでは通信教育での学修以外に、小・中学校での養護実習(教育実習)が4週間(原則連続で)、病院での看護実習が4日間、それぞれ必要となります。仕事を続けながら養護教諭を目指す方においては、4週間の連続した休暇を取得できる職場環境にあることが必要です。 |
| 3 | 本コースのプログラムのみで7回程度(1回あたり1~3日間)、本学に来校しての会場スクーリングの参加が必要です。 |
| 4 | 養護実習における小・中学校、看護実習における病院といった実習施設の斡旋は大学側で行いません。学生自身で確保する必要があります。実習希望先へのアプローチ等は事前スクーリングで説明しますが、地域によっては実習先の確保に苦労されている現状があります。また、養護実習(教育実習)の実習先(小・中学校)については、教員採用試験の受験資格年齢制限により、実習を受け入れてくれる学校が少ない場合もあります。必ず養護教諭免許状を取得するという強い意志を持って実習先の確保を行うことが望まれます。 |
| 5 | 養護実習(教育実習)は、実習の実施前に所定の科目の単位を全て修得しなければ実施することはできません。実習先に迷惑のかからぬよう履修の手引きや履修モデル等をよく確認し、計画的に科目を履修して学修する必要があります。 |
| 6 | 養護教諭になるためには、養護教諭免許状取得の他に、公立学校の教員については各自治体が行う教員採用試験に、また私立学校については各学校で行われる教員採用試験に合格することが必要です。事前に各自治体の状況や、希望する私立学校の受験資格等詳細について、調査・把握することが望まれます。 |
| 7 | 3年次編入学の方は、養護教諭免許状に加え、認定心理士の取得を同時に目指す場合、履修登録単位数に上限があるため、2年間で資格等の申請に必要な全ての単位を修得することはできません。3年以上の在籍が必要となります |

既に教員免許を取得されている方は以下の欄に記入してください。

上記の内容について了承した上で、申し込みを致します。

| 教員免許の種類 | 取得した年月 | 取得した学校名 |
|---------|--------|---------|
| | | |

年 月 日

氏名: ☑

③ 大学改革支援 学位授与機構への学士申請について(「基礎資格」を有する3年次編入学希望の方)

「基礎資格」を有し、本学卒業後に、大学改革支援・学位授与機構へ学士申請を予定されている方のみ下記にご回答ください。学士申請を予定している学位の種類は?

- ①学士(看護学) ②学士(鍼灸学) ③学士(栄養学) ④学士(保健衛生学) 【理学療法士養成施設を卒業・修了された方】
 ⑤学士(保健衛生学) 【作業療法士養成施設を卒業・修了された方】 ⑥その他 ()

④ 学士申請プログラム登録における確認書

学士申請プログラムに登録希望の方は、必ず下記の事項に目を通し、署名および捺印をお願いいたします。

- ア) 学士申請時に、大学改革支援・学位授与機構に提出する学修成果レポートの指導はありません。論文やレポートの指導を希望する場合は、3年次編入学し、総合演習「人間総合科学の探究」を履修してください。(その場合も、学修成果レポートの直接的な指導はありません)
 イ) 学士の申請は、ご自身で大学改革支援・学位授与機構に行ってください。
 ウ) プログラム内容以外の学士申請に関する個別の問い合わせは、ご自身で大学改革支援・学位授与機構に行ってください。

私は、

①大学改革支援・学位授与機構への学士申請に関する「第2申請区分の基礎資格」を有しています。 年 月 日

②上記確認事項の内容について了承のうえ、申し込みをいたします。 氏名: ☑